

2026年3月

NEC キャピタルソリューション株式会社

# わくわく子どもの池プロジェクト活動報告 昭和女子大学附属昭和小学校 (2025年12月活動)

昭和小学校の5年2組の子どもたちは、地域の自然を守る学習に取り組んでいます。生きものに来ってもらうため、校庭の花壇でのグリーンカーテンづくり、二子玉川や世田谷自然公園での観察などの活動をしているそうです。今回その一環として授業を行うこととなりました。

## 1回目授業 生きものとお話しする方法 (2025年6月26日 オンライン)

子どもたちは最初のオンライン授業で、飯島先生から生きものとお話しする方法について学びました。



生きものの体のつくりは、すみかやくらし(食べもの)に合わせて形や大きさが違います。また、同じ虫でも、幼虫と成虫で体のつくりが変わる虫と変わらない虫があります。どうしてなのか考えました。体のつくりが変わる虫がカブトムシやチョウ、体のつくりが変わらない虫はバッタなどです。

幼虫と成虫で体のつくりが変わる虫

		幼虫	成虫
カブトムシ	体のつくり	胸部・肢が小さく、 腹部が大きい	胸部・肢が大きく、 腹部が小さい
	すみか	土の中	木の上、空
	くらし (食べもの)	腐食土	樹液
チョウ	体のつくり	部・肢が小さく、 腹部が大きい	胸部・肢が大きく、 腹部が小さい
	すみか	草や木の葉っぱの上	野原、空
	くらし (食べもの)	葉っぱ	花のみつ

幼虫と成虫ですみかや食べものが変わる虫は、体もそれに適したつくりに変わりません。幼虫は消化しにくい葉や土を食べるので腹部が大きく、成虫になって食べる樹液や花のみつは消化がしやすいので、腹部が小さくても問題ないことが分かります。バッタは成長してもすみかや食べものが変わらず、体のつくりも変わりません。また、カエルを例に生きものは、ありがたいのつながりの中で生きていることが分かりました。飯島先生から学校に呼びたい生きもののありがたいのつながりを考えるマップを考えてみるといいのではないかとのお話が出ました。

2025年7月 夏休み 子どもたちから飯島先生へのお手紙

夏休みの間に子どもたちから飯島先生へのお礼のお手紙が届きました。

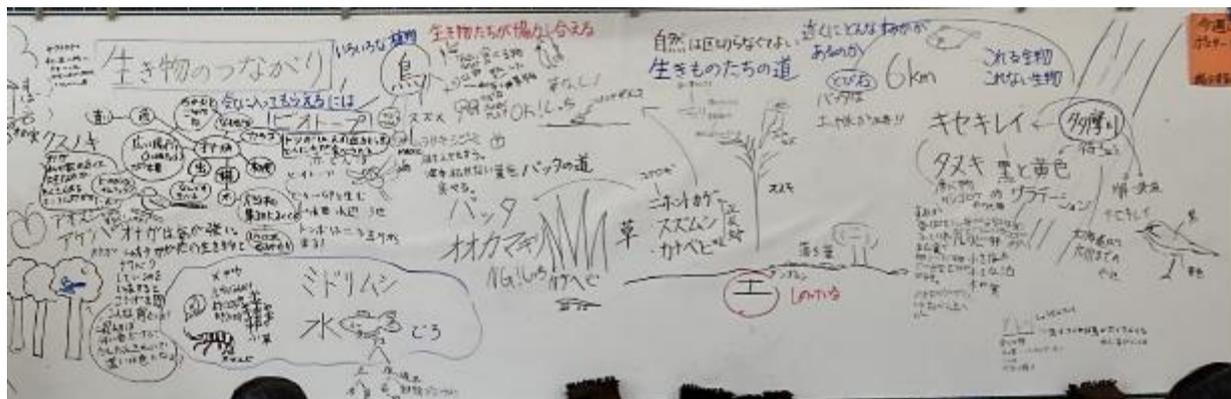
2回目授業 「ありがたいのつながり MAP」の発表(2025年9月11日 オンライン)

この日は、呼びたい生きものの「ありがたいのつながり」について調べて考えた子どもたちが、飯島先生にその内容を発表をします。

虫 (ミドリムシ、バッタ、スズムシ、アゲハチョウ、カマキリ、トンボ)

鳥 (セキレイ、カラス、ホトトギス ツバメ、メジロ メジロ、オナガ、スズメ、シジュウカラ、クイタダキ、ルリビタキ、モズ、ワシ、タカ、ツグミ、アトリ)

そのほか(トカゲ、ヤモリ、ネコ、タヌキ、リス、エビ、アユ、メダカ) などが出てきました。



飯島先生からは、「学校周辺の緑の道を確認し、生きものの道を作るのが大事、みんなが調べた生きもののうち呼べるものを考えてみよう。餌をあげないで虫を呼ぶにはどうしたらいいか、虫の食べ物を調べてみて」とのコメントがありました。

### 3 回目授業 「呼びたい生きものとビオトープ設計図」の発表（2025 年 11 月 25 日 オンライン）

子どもたちから飯島先生に呼びたい生きものとビオトープの設計図の発表をします。子どもたちが用意した資料をホワイトボードに投影して説明します。トンボとヤゴ、バッタ、カマキリ、チョウ、哺乳類、シジウカラ、メダカ、ヌマエビ、ミドリムシ、モズ、スズメ、メジロ、スズメ、トカゲなどです。

飯島先生からは「今回の発表で取り上げられていたほとんどの生きものはビオトープに来てくれると思います。野原を作るとバッタ、カマキリが来てくれます。バッタ、カマキリが好むイネ科の植物の実はスズメの好物なので、みんなで協力すると来てくれるはず。」とのことでした。

最後に子どもたちに学校を案内してもらいました。落ち葉のある場所、ケヤキやツバキが植えてある場所、小松菜などを植えている花壇があることが分かりました。

### 4 回目授業 造成授業（2025 年 12 月 16 日 屋外活動）

飯島先生から学んだことを活かして校庭で 4 つのグループに分かれてビオトープづくりをしました。作業内容は以下の通りです。

グループ	作業内容
草むらづくり	ススキ、チガヤ、オヒシバなどイネ科の植物の種まき 落ち葉集め、堆肥作り
池づくり	トロ舟でトンボヤゴ用の池づくり、メダカの池づくり
樹木鉢設置	クヌギ、ガマズミ、カキ、ミカンの苗を植木鉢に植えて 設置
巣箱作り	木材を組み立てて設置

草むらづくりグループは、植物の種まきと落ち葉集めをする人に分かれて作業をしました。



池づくりグループはトンボ(ヤゴ)用とメダカ用に2つの池をトロ舟で作りました。土を入れて水草を植え、片方にはメダカとヌマエビを放流しました。



樹木鉢設置グループは植木鉢に土を入れて実のなる樹木の苗を植え、校庭に配置しました。



巣箱作りグループは木材を組み立てて、釘打ちし、鳥の出入り口の用の穴を空けて完成させました。来てほしい鳥に合った穴をあけることや、取り付ける高さなども大切です。



早く作業が終わったグループは落ち葉集めグループに加わって、集めた落ち葉にぬかと水を加えて重ねていく、たい肥作りの作業を進めました。

たくさん作業があったのですが、子どもたちが協力して作業を進めたことで、作業を完了することができました。

子どもたちから「これまで準備を頑張ってきて、今日のビオトープ作りにたくさんの方が協力してくださいました。これからは、虫や鳥を呼びたいという気持ちを大切にしながら、自分たちなりのビオトープにさらにさらに改造していきたいです。まずは小学校の全学年に知ってもらって、みんなで作ったビオトープを守って行きたいです。」との感想をいただきました。

これからがビオトープの始まりです。呼びたかった生きものが応えて来てくれるとい  
いですね。

以 上